



令和2年度学校だより

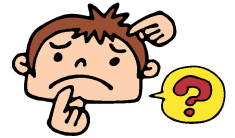
甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう) 第4号

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

離れていても気持ちをつないで、みんなで学び合い！ ～ いちょうタイム自宅学習編”に挑戦～



「今度こそ・・・」という思いで5月7日からの学校再開を誰もが待ち望んでいたところですが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、もうひと踏ん張りの自粛と我慢がより安心・安全な学校再開には必要との判断に至り、臨時休業がさらに2週間余り延長となりました。その知らせに保護者の皆様、そして誰よりも子どもたちの落胆した表情が目につかび、私たちも残念な思いでいっぱいです。しかしながら、下を向いてばかりはいられませんので、皆様のご理解とご協力をいただきながら5月24日の入学式、25日の始業式、そして26日からの授業再開に向けて頑張っていきたいと思っております。

さて、前号では、新聞で見つけた『心穏やかに過ごすヒント』なるものを紹介しました。その中に、小さな達成感が得られるように家族で時間割を作ってみたら・・・というものがありました。臨時休業の延長、延長で家庭での生活が長引き、時間になればチャイムが鳴り決められた時間割に従って学習できる学校とはまったく違った生活を子どもたちは強いられています。それが2か月以上にも及ぶことから、いざ学校が再開されたとき学校生活のリズムに乗って授業に集中したり、規則正しく生活したりすることができるか心配になっています。朝起きる時間一つをとってみても、普通に学校に通っていたときに比べて明らかに遅くなっている子もいるのではないのでしょうか。

そこで、今回の臨時休業延長を機に、“**南西中いちょうタイム・自宅学習編**”に取り組んでいこうと思います。ねらいは2つ。その一つは、学校再開に向けて生活リズムをもう一度立て直し心と体と頭の準備をすることにあります。方法としては、下のような学校生活に合わせた時間割に沿って学習時間を確実に確保するとともに規則正しい生活リズムを取り戻していきます。こうすることで、午前中2時間、午後2時間は、南西中生の誰もが机に向かって学習に取り組んでいることとなります。まさに学校にいるのと同じようにです。

5教科についてはそれぞれ週に3時間学習できるようになっていますので、今回出された課題をうまく組み合わせ進めていくとよいと思います。また、土曜日は「自分で決める」としてありますので、課題の進み具合に応じて学習する教科を決めてよいですし、eライブラリ「家庭学習サービス」や県教委作成の「やまなし小・中学生応援サイト」などを視聴しながらの学習に充てることもできます。毎日少しずつ体を動かす時間を取り入れるのもいいでしょう。いずれにしても、この時間割をベースに、学習を核とした生活のリズムを確立してほしいと思います。

	月	火	水	木	金	土
朝の会 8:20～8:35	検温と「健康チェック表」への記入					
1校時 8:50～9:40	国語	理科	社会	英語	数学	自分で決める
2校時 9:50～10:40	社会	英語	数学	国語	理科	自分で決める
3校時 11:00～11:30	読書タイム					
4校時 13:30～14:20	数学	国語	理科	社会	英語	自分で決める
5校時 14:30～15:20	音・美・体・技家の課題（進度や興味関心に合わせて）					

ねらいのもう一つは、みんなでやることにあります。学級や学年の仲間が、さらには南西中の仲間が、同じ時間を、同じ行動を、同じ気持ちを共有することに意味があると思っています。2・3年生はまだしも、1年生にとってはまだ会ったこともない友だちとも臨時休業中に一緒に頑張ることができたという事実が気持ちのつながりを生み、やがて学校が再開され様々な活動や行事等が行えるようになった時にもこの経験が必ずや生きてくるものと信じています。

そもそも“いちょうタイム”とは南西中の特色の一つで、子ども同士の学び合いによって基礎・基本の定着をはかったり発展的な課題に挑戦したりする15分程度の学習活動を指します。昨年度は、テスト前の学習強化週間に“いちょうタイム”を集中させ、子どもたちが主体的、対話的に学習課題に向かう時間として位置づけました。今年度もそのような方向で“いちょうタイム”を運営していくことを年度はじめに確認したところです。

しかしながら、このような状況が続いていますので、それを学校で実現することは今のところできません。が、みんなで励まし合ったり助け合ったりしながら学ぶことの楽しさを味わったり



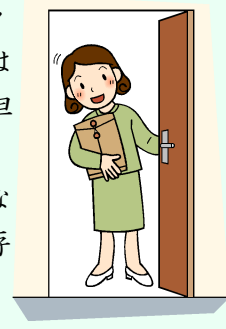
力をつけたりするという“いちょうタイム”で目指すところは、たとえ離ればなれの状況にあっても生かすことができるのではないかと考えます。「〇〇さんも、今きっと頑張っているだろうから私も・・・」という気持ちや、「数学の課題の××、やってみた？ ちょっとよくわからないんだけど教えてもらえる？」といった電話等でのやりとりなどを通して、互いに支え・支えられているという意識の高まりにつながることを切に願っています。

家庭訪問を行います！

保護者の皆様には、今回で3回目となる課題の受け渡しに学校まで足をお運びいただき本当にありがとうございます。わずかな時間ではありますが、私たちにとってはお子さんの様子を聞かせていただける大変貴重な時間となっています。

来週の18日（予備日：19日）には、今度はこちらから各ご家庭にお伺いさせていただく予定であります。とは言っても、今回の家庭訪問は、年度はじめに行うそれとは異なり、2週目の課題を渡すのと引き替えに1週目の課題を受け取ることとお子さんの健康状態を知ることが主な目的です。したがって、玄関先または庭先でソーシャル・ディスタンスをとりながらの数分の立ち話になるかと思えます。また、今回は各学年職員が手分けをして訪問させていただきますので、お伺いする者が担任ではない場合がありますが、ご承知おきください。

なお、保護者の皆様には仕事のご都合等もおありでしょうから、無理をなさらない範囲でもし可能ならば、お子さんとご一緒いただけますと幸いです。



雑感



先月、小包が学校に届きました。中身は蛍光マーカーやボールペンなどの文房具でした。一緒に私宛の手紙が添えられており、送り主は37年前に南西中を卒業した方だということがわかりました。後輩や私たち職員に役立ててもらえればという思いで送ってくださったそうです。「世間はコロナ・・・ですが、貴校の発展を願っています。」と

という言葉でその手紙は締めくくられていました。また、前回の課題受け渡しの際には、消毒液をボトルでご寄付くださった保護者様もあり、これらのことから南西中は南西中（の子どもたち）を思う方々によって支えられていることを改めて感じました。こんな状況下だからこそ、相手を思い遣る気持ちを大切にしたいものです。